

【アゼルバイジャン経済トピック 164 号】

在アゼルバイジャン日本大使館

2023 年 12 月 13 日

国連気候変動枠組条約第 29 回締約国会議(COP29)のアゼルバイジャン開催

12 月 11 日、UAE のドバイで開催中の COP28 全体会合において、来年の COP29 がアゼルバイジャンで開催されることが正式に決定しました。開催時期は 2024 年 11 月 11 日(月)～22 日(金)の予定です。

アゼルバイジャンは輸出の約 9 割を石油・ガス部門が占めていますが、アゼルバイジャン政府はパリ協定に基づき、温室効果ガス排出量を 2030 年までに 1990 年比で 35%削減、また 2050 年までに 1990 年比で 40%削減する目標を掲げています。

上記削減目標を達成するため、アゼルバイジャン政府は、豊富な再生可能エネルギーのポテンシャルを活かし、2030 年までに設備容量の 30%を再生可能エネルギー由来とする目標を設定しています。

日本政府としてもアゼルバイジャン政府の取組をサポートするため、昨年 9 月に両国間で JCM (二国間クレジット制度)の構築に関する協力覚書 (MoC : Memorandum of Cooperation)に署名しました。

来年の COP29 開催に向けて、アゼルバイジャンにおける地球温暖化対策は更なる進展が見込まれるところ、日本企業による各種プロジェクト実施や投資等に繋がるが大いに期待されます。

(以上)